

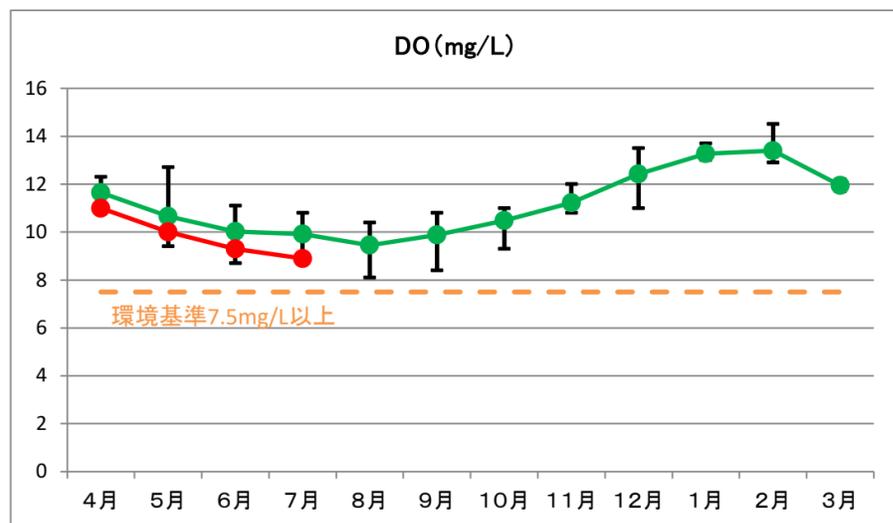
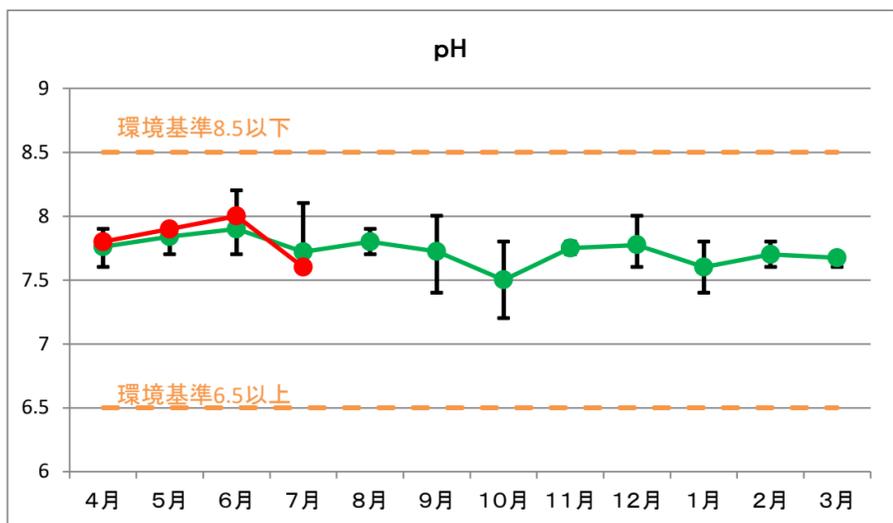
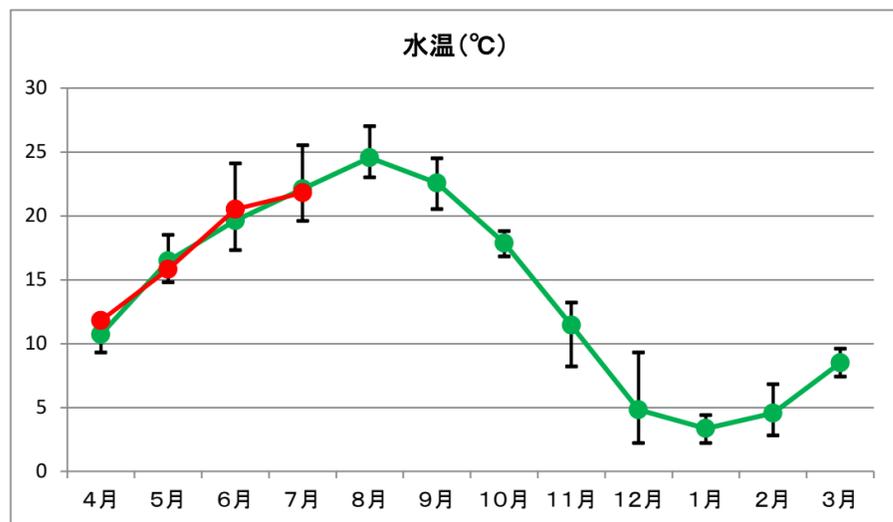
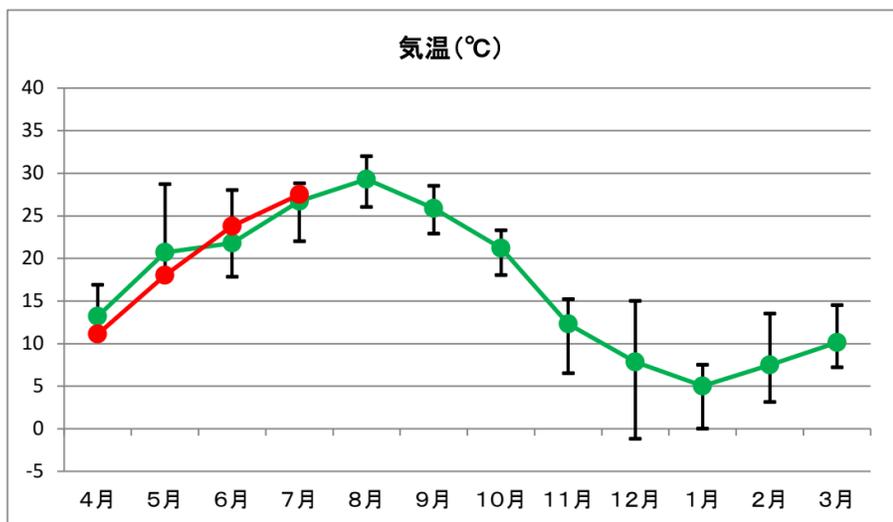
川上ダム建設所 水質調査結果（令和3年7月分）

調査日：令和3年7月12日

調査地点	(単位)	1. 新川上	2. 種生橋	3. 安場橋	4. 羽根橋	5. 後瀬橋	6. 比土橋
調査時間	—	10:05	11:00	11:25	11:40	11:55	12:10
天候	—	晴	晴	晴	曇	曇	曇
気温	℃	27.5	30.0	29.0	28.8	28.8	27.2
水温	℃	21.8	21.0	20.6	24.0	23.0	23.1
透視度	cm	>100	96	>100	98	96	90
全水深	m	0.9	0.9	0.4	0.8	0.9	1.5
採取水深	m	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
外観	—	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明
臭気（冷時）	—	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭
電気伝導度	mS/m	8.1	8.3	5.8	7.9	8.5	8.3
pH	—	7.6	7.7	7.6	7.7	7.6	7.7
BOD	mg/L	0.8	0.9	0.8	0.9	1.0	1.0
COD	mg/L	2.7	3.2	2.2	3.0	3.2	3.2
SS	mg/L	6	9	4	6	7	7
DO	mg/L	8.9	9.3	8.7	8.7	8.4	8.6
大腸菌群数	MPN/100mL	1700	5400	2200	9200	9200	3500
濁度	度	3.4	4.4	2.2	3.0	3.2	3.2
全亜鉛	mg/L	<0.005	—	—	—	—	—
ノニルフェノール	mg/L	<0.00006	—	—	—	—	—
LAS	mg/L	<0.0006	—	—	—	—	—
全窒素	mg/L	0.57	0.74	0.46	0.63	0.84	0.79
アンモニア態窒素	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	—	—	—
亜硝酸態窒素	mg/L	<0.002	0.003	<0.002	—	—	—
硝酸態窒素	mg/L	0.46	0.60	0.33	—	—	—
全リン	mg/L	0.027	0.039	0.021	0.025	0.055	0.043
オルトリン酸態リン	mg/L	0.019	0.026	0.014	—	—	—
溶解性総リン	mg/L	0.018	0.019	0.016	—	—	—
溶解性オルトリン酸態リン	mg/L	0.011	0.014	0.010	—	—	—
溶解性COD	mg/L	1.7	1.8	1.6	—	—	—
クロロフィルa	μg/L	1.2	0.8	0.7	—	—	—
カドミウム	mg/L	—	—	—	—	—	—
全シアン	mg/L	—	—	—	—	—	—
鉛	mg/L	—	—	—	—	—	—
六価クロム	mg/L	—	—	—	—	—	—
砒素	mg/L	—	—	—	—	—	—
セレン	mg/L	—	—	—	—	—	—
総水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル	mg/L	—	—	—	—	—	—
ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	—
四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—
チラウム	mg/L	—	—	—	—	—	—
シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—
ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	—
フツ素	mg/L	—	—	—	—	—	—
ホウ素	mg/L	—	—	—	—	—	—
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—
TOC	mg/L	1.2	1.4	1.3	—	—	—

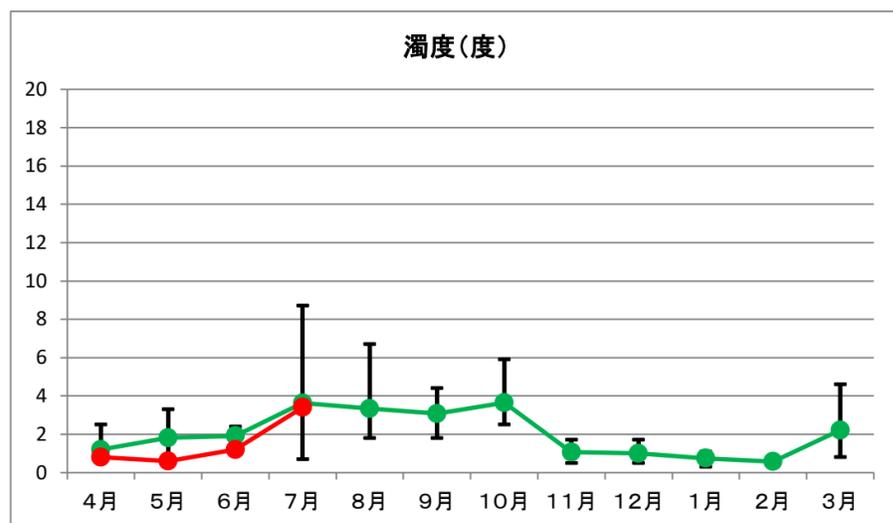
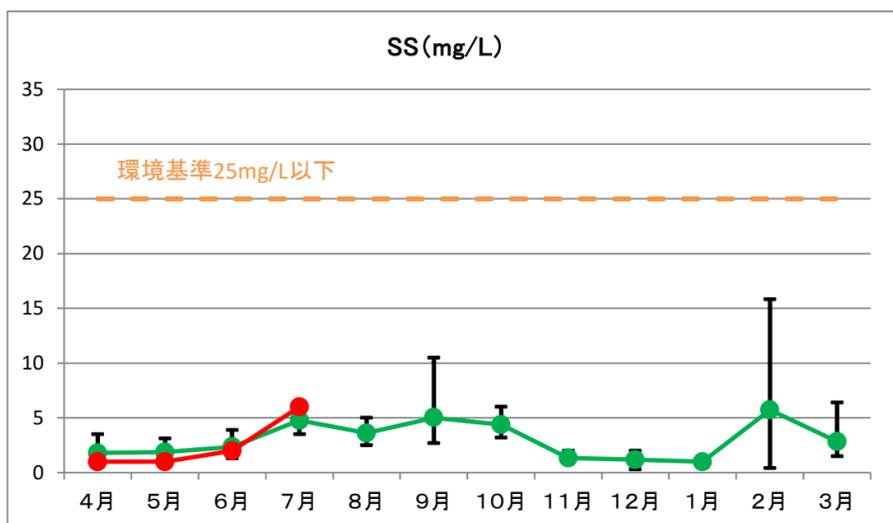
1. 新川上

I 過去4年変動幅(最大値-最小値)
 ● 過去4年平均値
 ● 令和3年度値



※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。



※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性物質の総称。

※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

※生活環境の保全に関する環境基準(水質汚濁に係る環境基準)

人の健康を保護し、また生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい環境上の条件についての基準。そのうち的生活環境項目については、水域の利用目的に応じた類型ごとに基準値が定められている。新川上のある前深瀬川は環境基準の類型が指定されていないため、木津川本川(A類型)を参考とする。

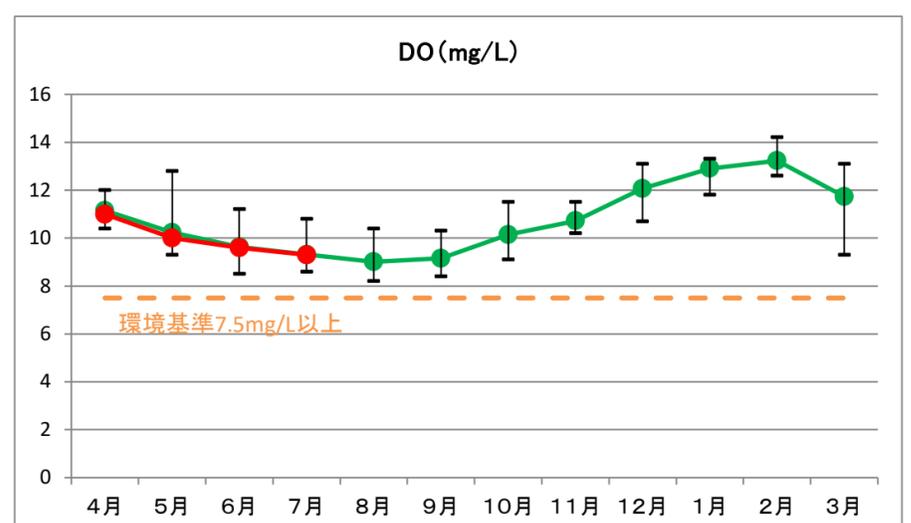
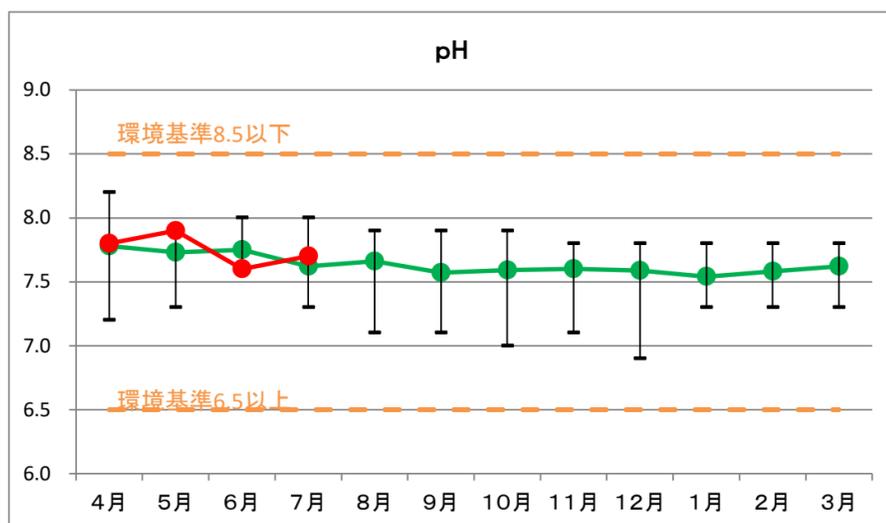
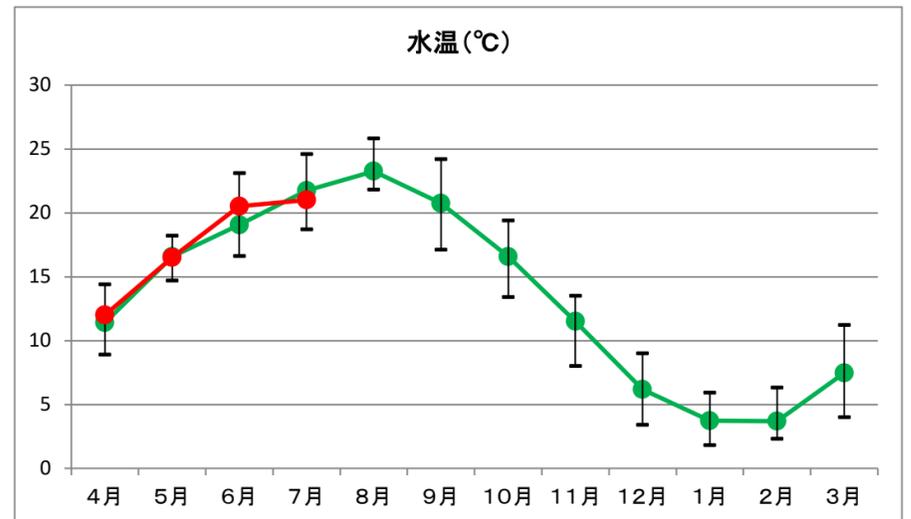
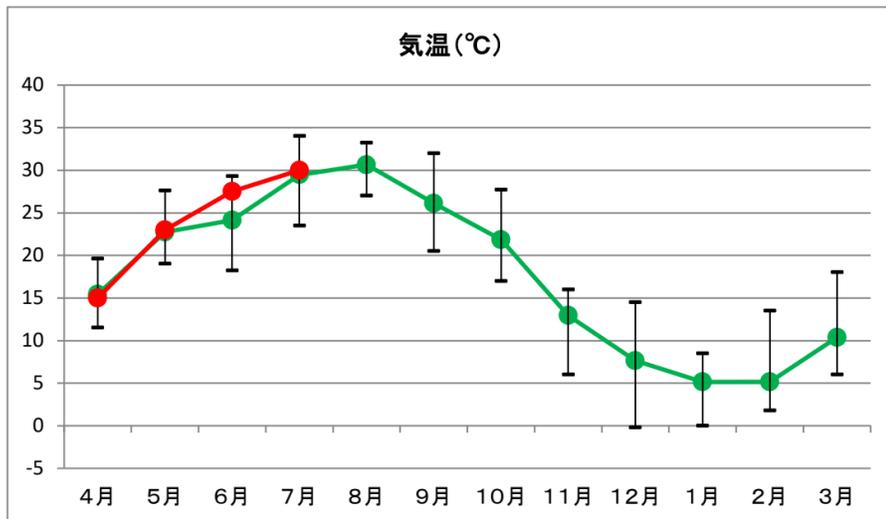
河川A類型

pH:6.5 ~ 8.5mg/L、DO:7.5mg/L以上、SS:25mg/L以下

2. 種生橋

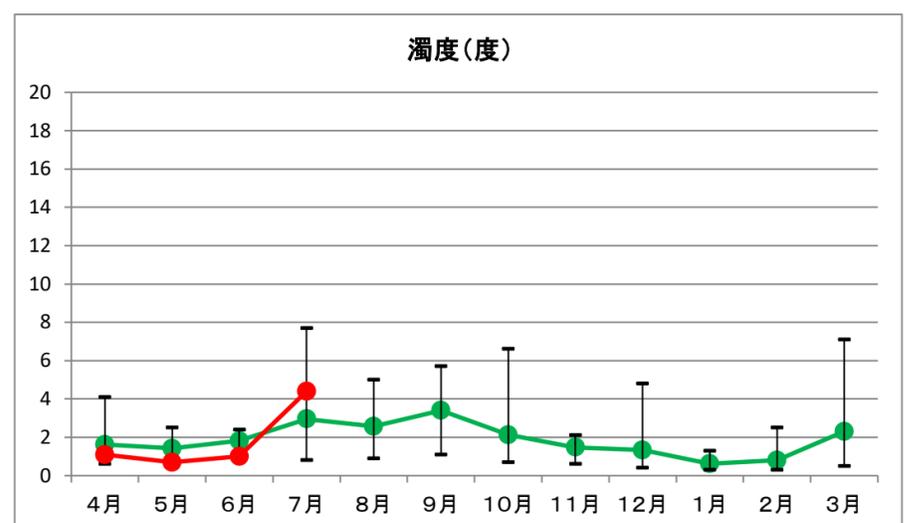
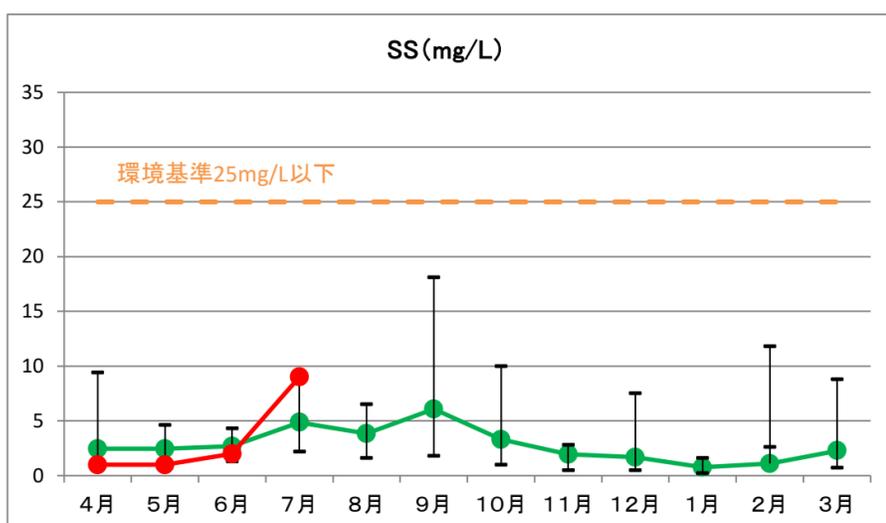
I 過去10年変動幅(最大値-最小値)
 ● 過去10年平均値
 ● 令和3年度値

(注)過去10年:平成23年4月~令和3年3月



※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。



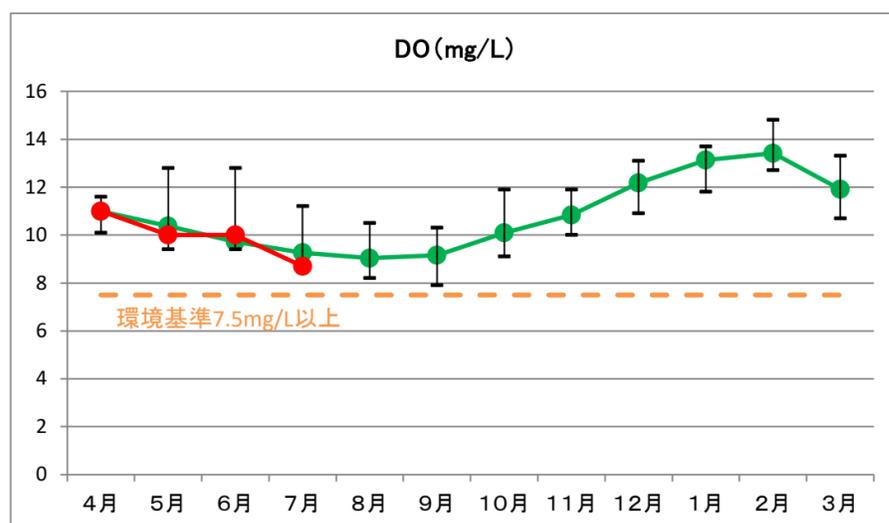
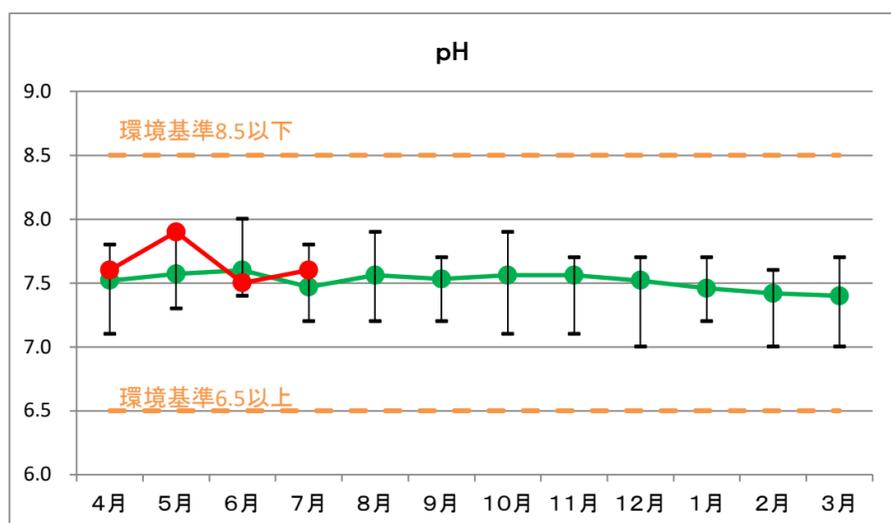
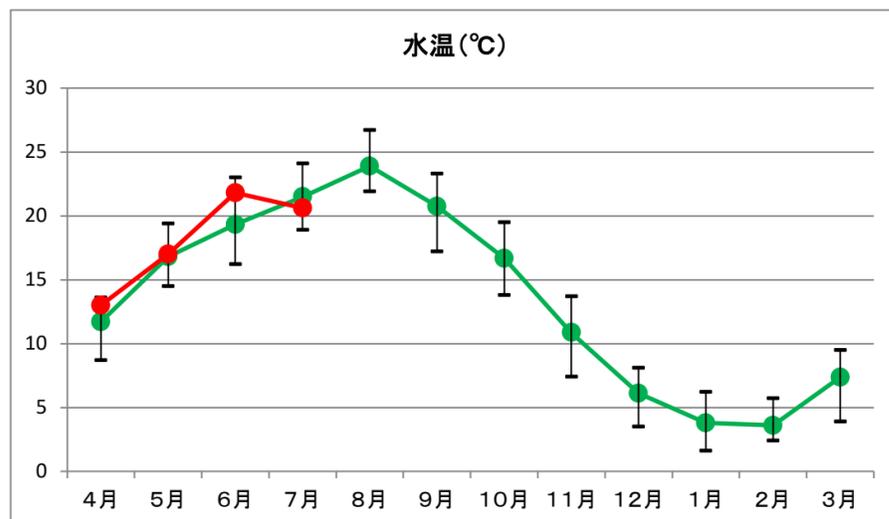
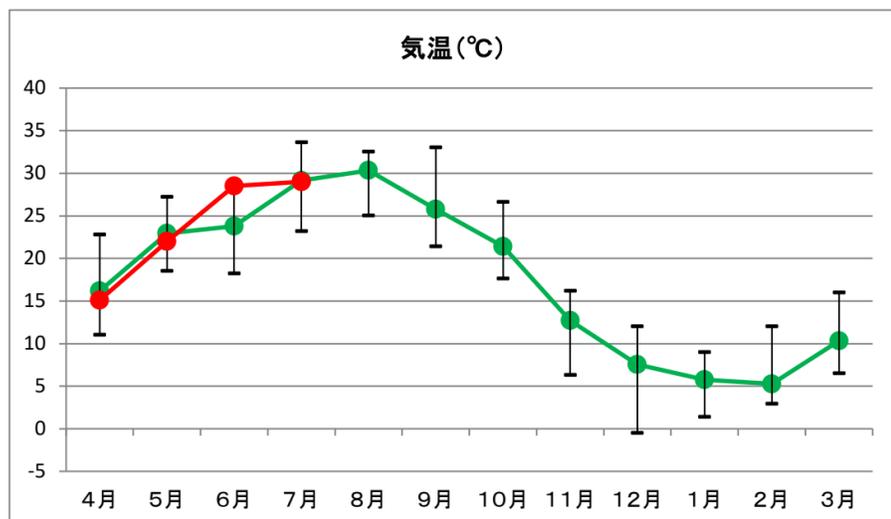
※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性物質の総称。

※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

3. 安場橋

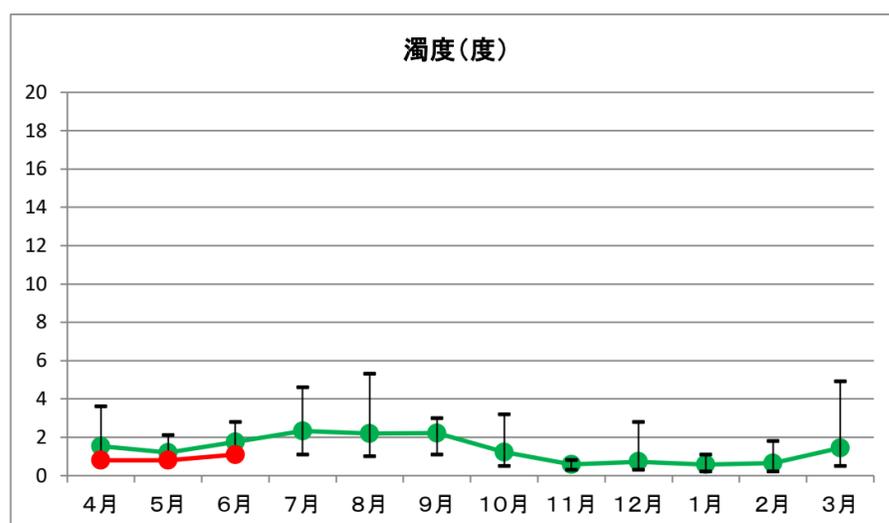
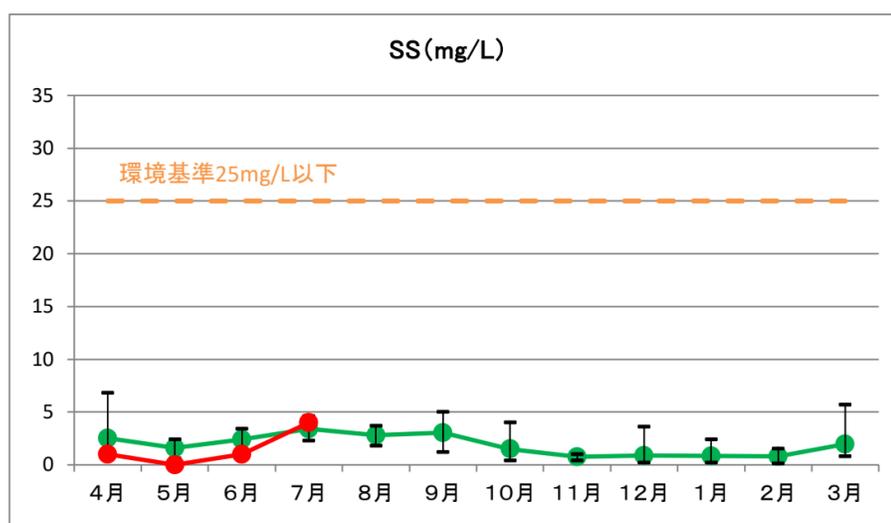
- I 過去10年変動幅(最大値-最小値)
- 過去10年平均値
- 令和3年度値

(注)過去10年:平成23年4月~令和3年3月



※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は息が困難となる。



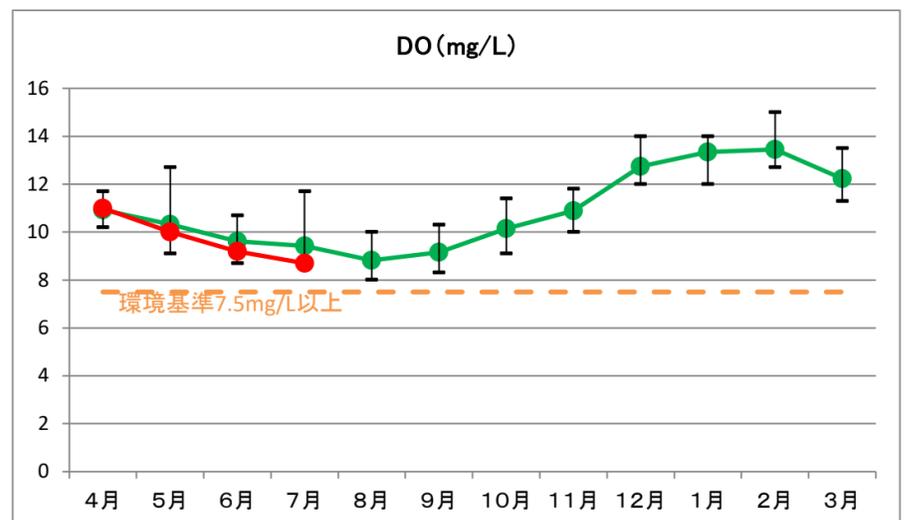
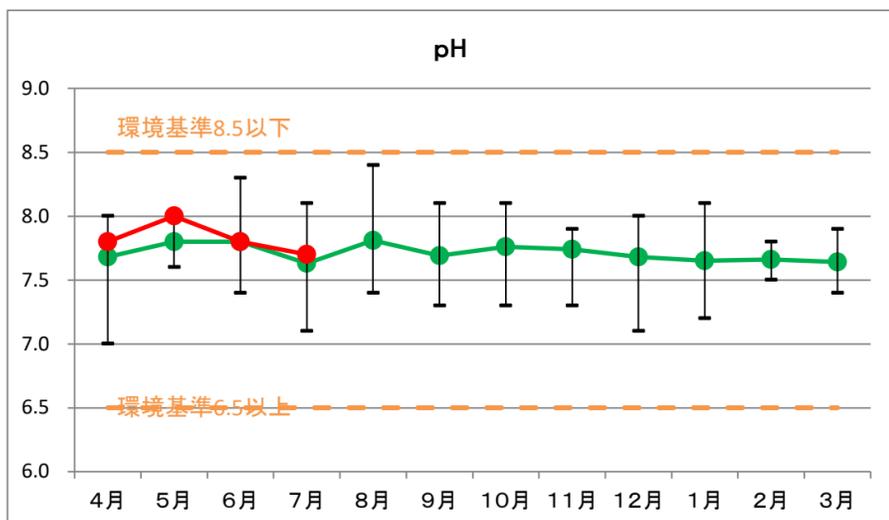
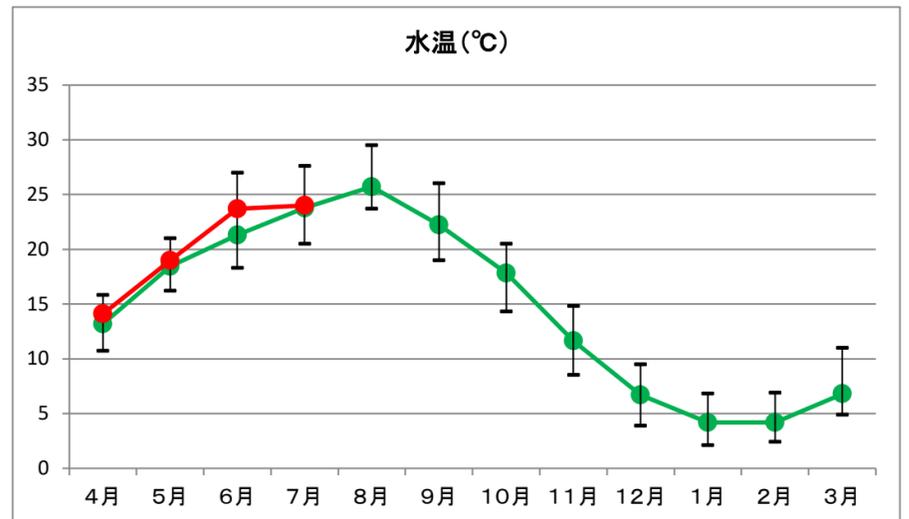
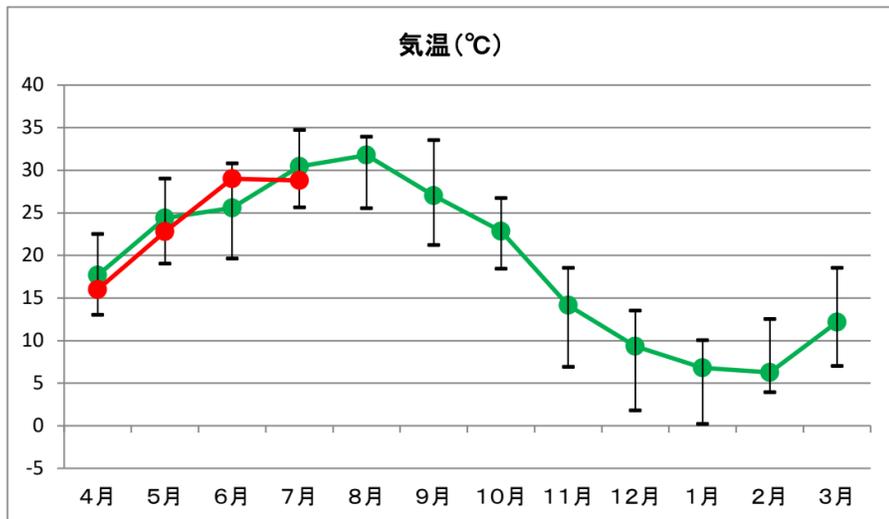
※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性物質の総称。

※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

4. 羽根橋

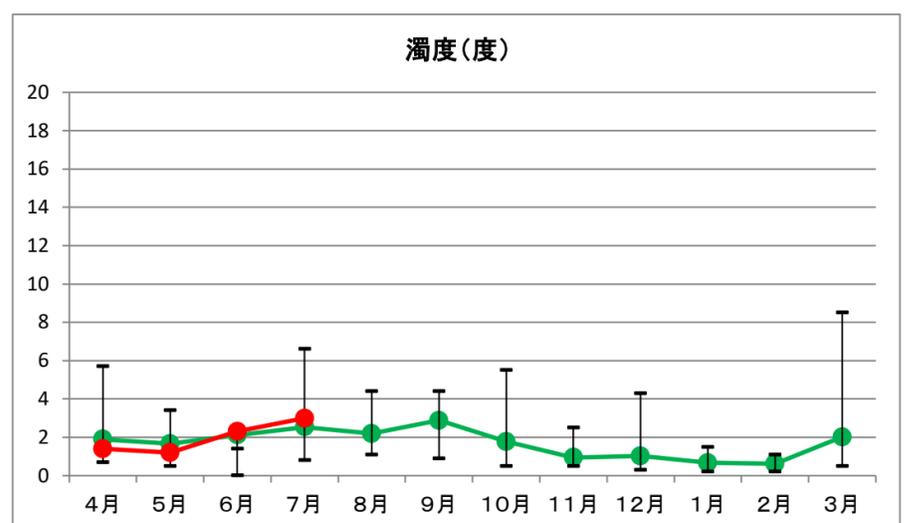
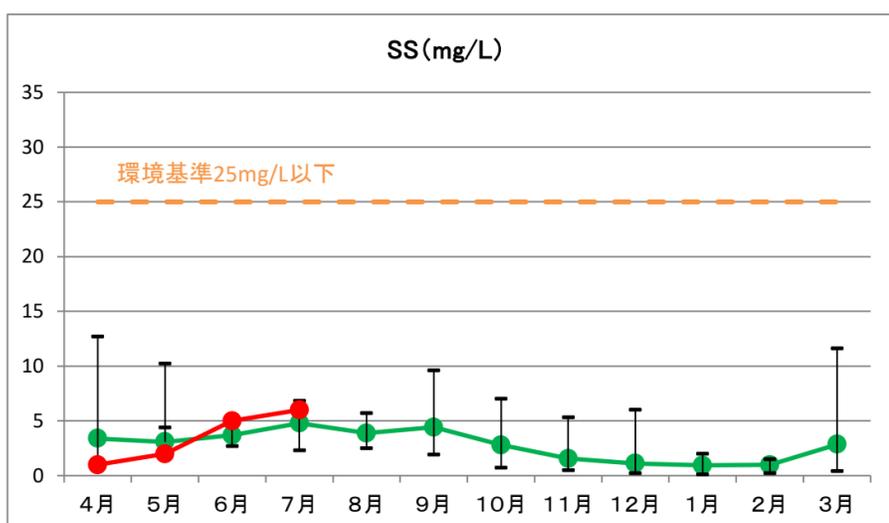
I 過去10年変動幅(最大値-最小値)
● 過去10年平均値
● 令和3年度値

(注)過去10年:平成23年4月~令和3年3月



※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。



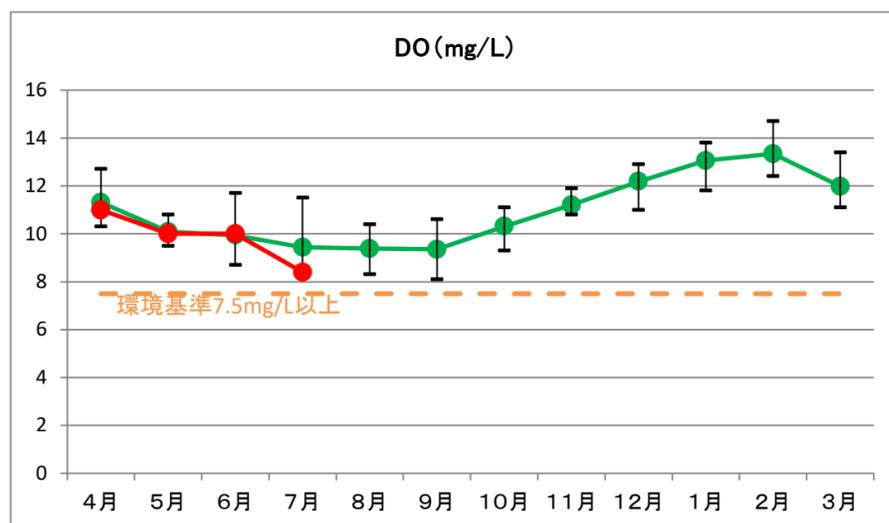
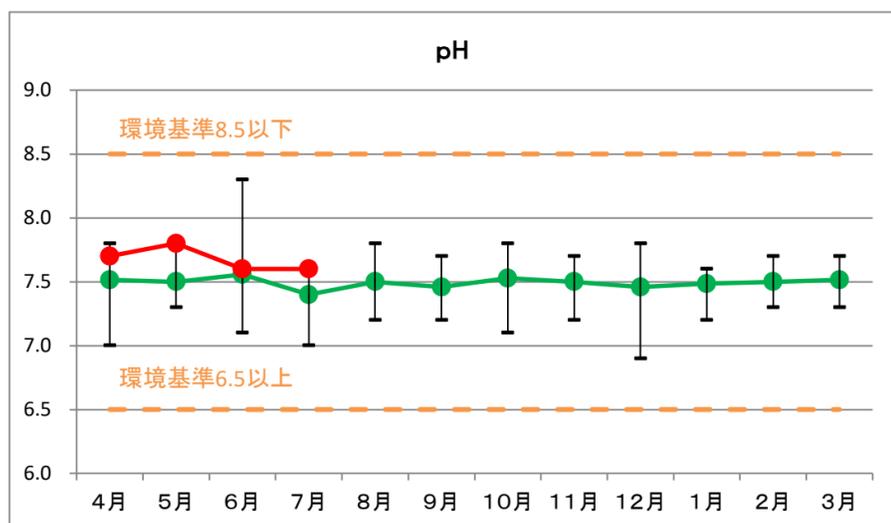
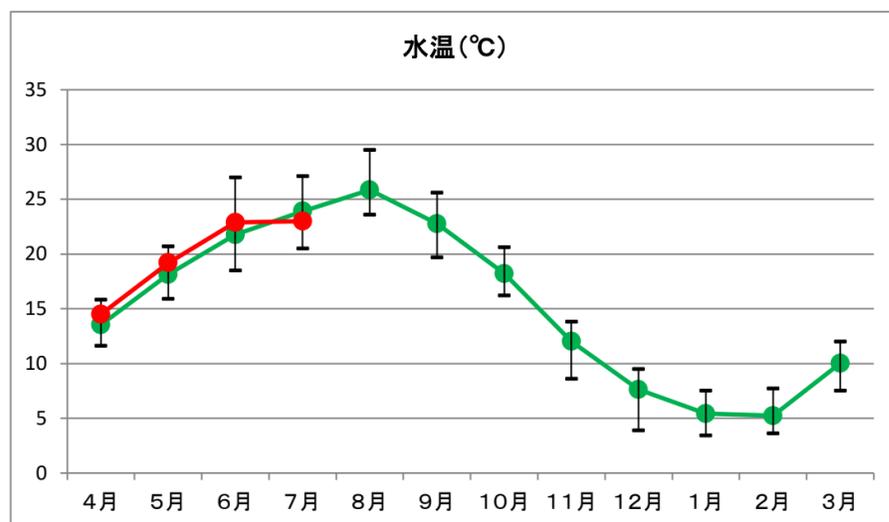
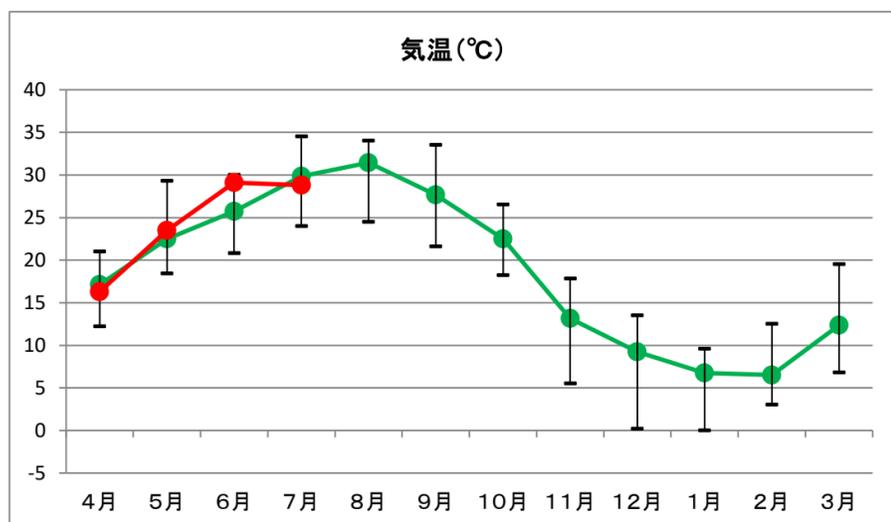
※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性物質の総称。

※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

5. 後瀬橋

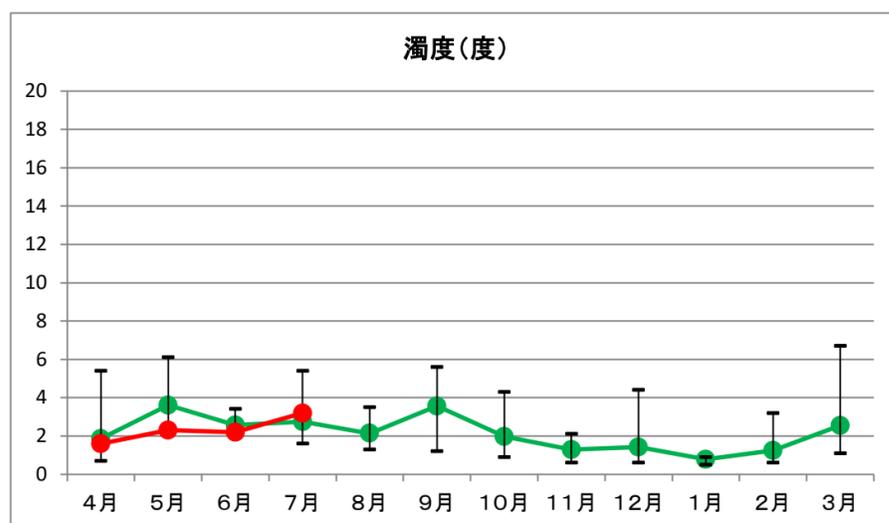
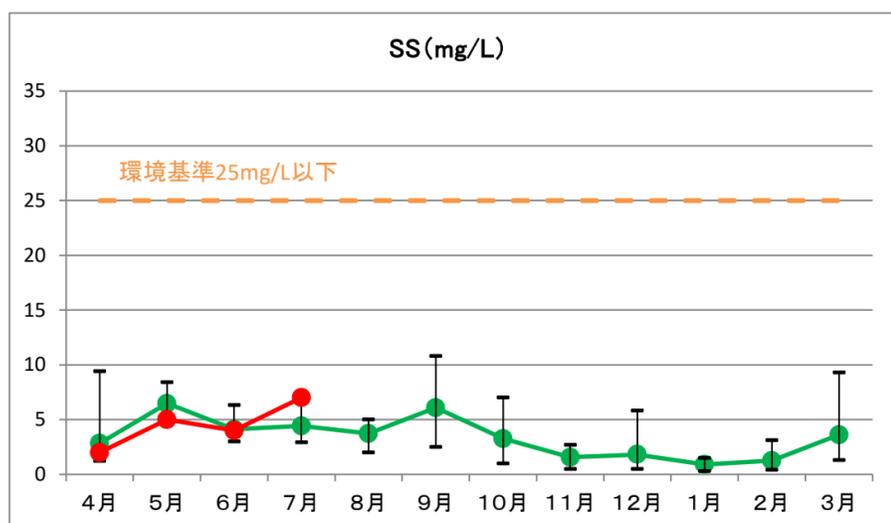
I 過去10年変動幅(最大値-最小値)
 ● 過去10年平均値
 ● 令和3年度値

(注)過去10年:平成23年4月~令和3年3月



※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。

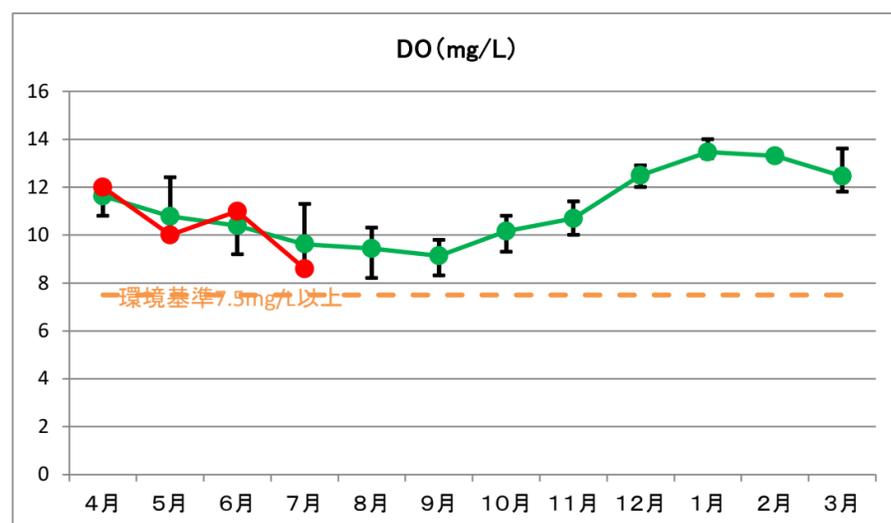
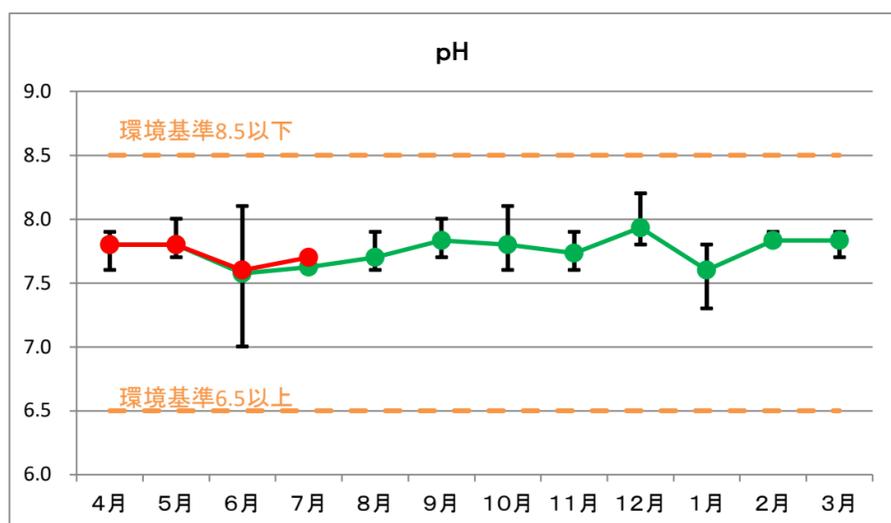
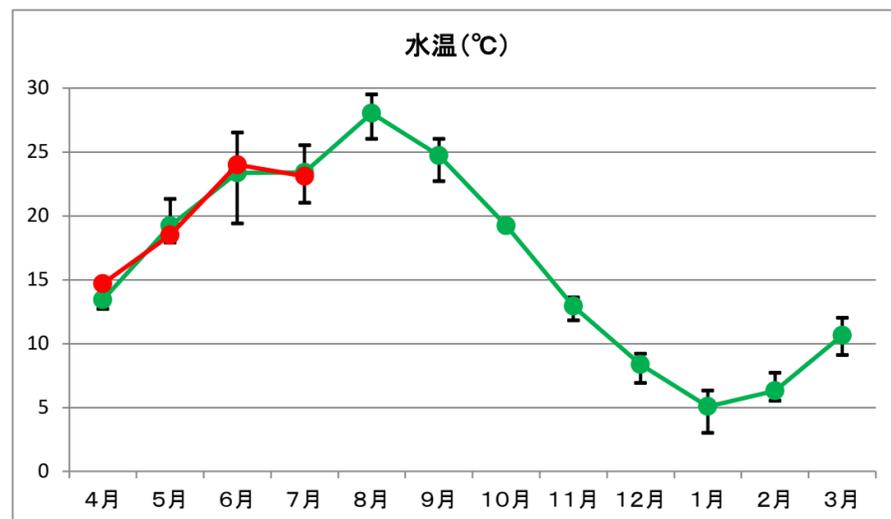
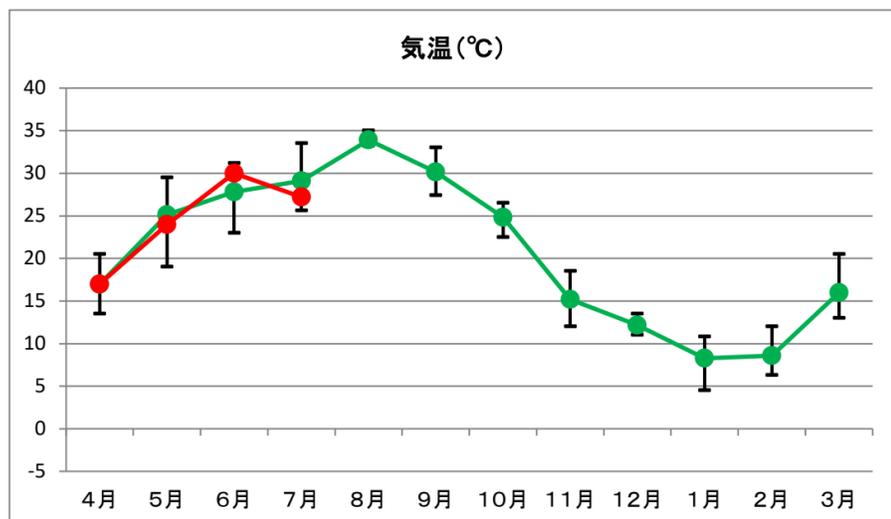


※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性物質の総称。

※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

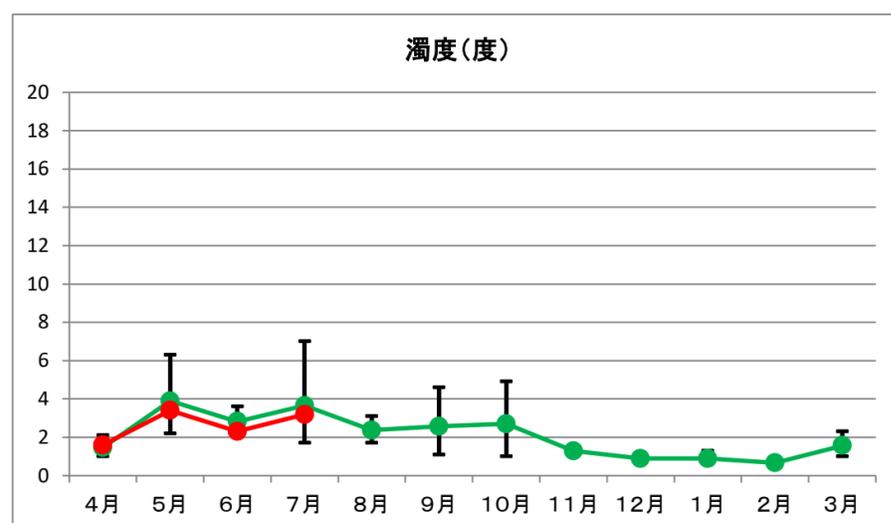
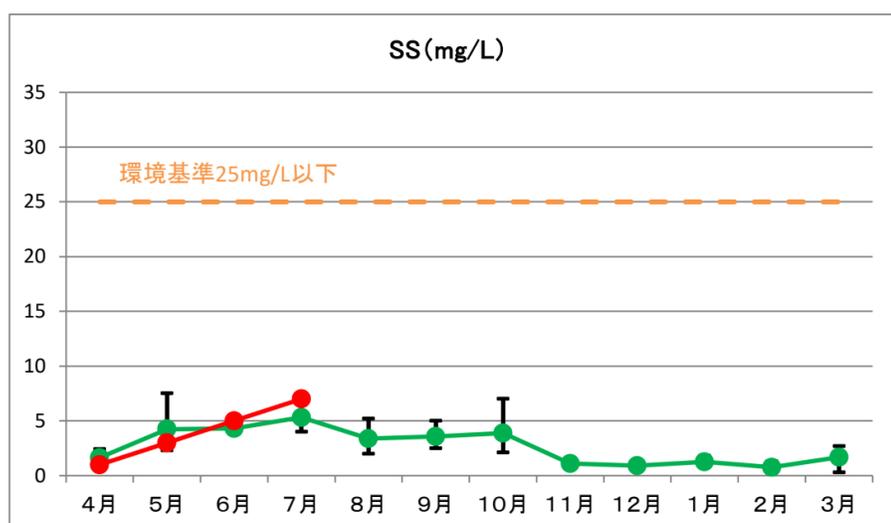
6. 比土橋

I 過去3年変動幅(最大値-最小値)
 ● 過去3年平均値
 ● 令和3年度値



※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。



※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性物質の総称。

※濁度:水の濁りの程度を表すもの。